

週報



<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ
～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 出会いと対話に日々新しくされて

<聖句> マルコによる福音書2章22節

また、だれも、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりはない。そんなことをすれば、ぶどう酒は革袋を破り、ぶどう酒も革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋にいれるものだ。

≪神戸教会は2020年に宣教開始70周年を迎えました。≫

「イエスがキリストであるエビデンス(証拠)」

今日の聖書箇所は、新共同訳聖書では3つの小見出しに分かれています。先週の聖書箇所が続く一つの継続した話として読みたいと思います。そうすると律法学者とファリサイ派の人々が「先生、しるしを見せてください。」と言うのは、「そこまで言うなら、イエスの言葉が真実である証拠を出してもらおうじゃないか」ということになります。確かに証拠を見なくては信じられないのが人の性質ですが、イエスさまはむしろ見ても信じようとせず心を閉ざす人々を見抜き、その証拠を示そうとはしておられません。何故ならば、その証拠とは「これこれ」と根拠を示せるものではなく、人の心の中に息づくものであるからです。

ニネベの人々と南の国の女王の例を持ち出して語ろうとしているのは、聞いた言葉によって立ち返ることの大切さです。ニネベの人は悪い行いをしていましたが、ヨナの言葉を聞いて悔い改めました。(ヨナ書3章)南の国の女王もソロモンの知恵を試みるために来ましたが、その知恵と富に脱帽し神を賛美しています。(列王記上10章)汚れた霊が追い出されても空き家ならばより悪い霊が入り込みます。ですからイエスさまの言葉を自分の主人とすることが大切なのです。つまりイエスさまがキリストであるエビデンス(証拠)とは説明で納得させるものではなく、この言葉によって生かされることそのものだということです。「誰でも、わたしの天の父の御心を行う人が、わたしの兄弟、姉妹、また母である。」【西脇慎一】

日本バプテスト連盟 神戸バプテスト教会 牧師 西脇慎一

〒650-0003 神戸市中央区山本通1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: kobe-church.com 事務局Eメール: jimukyoku@kobe-church.com

主日礼拝	毎日曜日	午前10:30~11:45
共育のひろば	毎日曜日(第3週除く)	午前11:45~12:40(当面お休みです)
	(幼児クラス・小学生クラス・中高生クラス・成人クラスA・B・C)	
幼稚園C・S	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
ひまわりひろば	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
月曜ひろば	第1・3月曜	午前9時半~11時(当面お休みです)
祈祷会	毎水曜日	午後7:00~8:15
	第2・4水曜	午前10:30~12:00(当面お休みです)

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入など、ご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

◆朝 10 時と夜 8 時に共にお祈りの時を持ちましょう。

- 1、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束に向かいますように。
- 2、感染した方々の癒しとご家族の守りと、緊張の中診療に当たられている医療従事者を始め、人々の日常生活を支えている多くの方々の守りのために。
- 3、コロナ禍で経済的な困難の中にいる個人事業主、非正規雇用の方々の守りのために。
- 4、子どもたちの心の守りと成長の祝福。そしてご家庭の守りのために。
- 5、光の丘幼稚園の園児・保護者・教職員の守りのために。主の守りと導きをお祈りください。
- 6、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰の守りのために。
- 7、ミャンマーで起きている市民への弾圧からの守りのために。自由と平和が実現しますように。

【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国 318 の教会・伝道所のために。また関西地方教会連合の36の教会のために。特に無牧師の神戸新生教会のために。また休会中の神戸国際、大阪旭のためにお祈りください。
- ◆5/27(木)18:00-19:30 西南学院大学ロングチャペルでは、ジョナサン・マゴネット教授(ユダヤ教ラビ)に「ヤコブは間違った祝福を奪ったのか?」と題して講演を頂きます。ズームで行います。参加希望者は <https://forms.gle/K3N4b1EL36esecRF8> よりお申し込みください。

告示 2021 年度第 1 回定期総会 日時 5 月 30 日 (日) 礼拝後

総会資料及び議決権行使書・委任状は、5 月 16 日以降に配布いたします。感染症拡大の状況により、会堂に多人数が集まることができない状況が予想されますので、書面にて議決権行使ができるように準備しています。教会員の皆様には、覚えてお祈りください。

交読 「祈り：詩編四二編より」

涸れた谷に鹿が水を求めるように、神よ、わたしの魂はあなたを求める。
神に、命の神に、わたしの魂は渴く。

いつ御前に出て、神の御顔を仰ぐことができるのか。

昼も夜も、わたしの糧は涙ばかり。

人は絶え間なく言う、「お前の神はどこにいる」と。

わたしは魂を注ぎ出し、思い起こす、喜び歌い感謝の声をささげる声の中を、

祭りに集う人の群れと共に進み、神の家に入り、ひれ伏したことを。

なぜうなだれるのか、わたしの魂よ、なぜ呻くのか。神を待ち望め。

わたしはなお、告白しよう、「御顔こそ、わたしの救いと」。

わたしの神よ。わたしの魂はうなだれて、あなたを思い起こす。

ヨルダンの地から、ヘルモンとミザルの山から、

あなたの注ぐ激流のとどろきにこたえて、深淵は深淵に呼ばわり、

砕け散るあなたの波はわたしを越えて行く。

昼、主は命じて慈しみをわたしに送り、

夜、主の歌がわたしと共にある。

わたしの命の神への祈りが。

わたしの岩、わたしの神に言おう。「なぜ、わたしをお忘れになったのか。

なぜ、わたしは敵に虐げられ、嘆きつつ歩くのか。」

わたしを苦しめる者はわたしの骨を砕き、

絶え間なく嘲って言う、「お前の神はどこにいる」と。

なぜうなだれるのか、わたしの魂よ、なぜ呻くのか。神を待ち望め。

わたしはなお、告白しよう。

「御顔こそ、わたしの救い」と。
わたしの神よ。